

2008 年度

科目名  身体表現と社会 A	対象学科・学年 人間人社2回生	担当者 村尾 敏彦
授業テーマ 社会としての演劇空間		
授業の概要と目標 ゲームで身体を動かすことから始めます。ゲームの動きに従ったやりとりの中で、しだいに共感的な空間をつくりていきます。それは、人はひとりでは生きていいくことが、感じ取れる空間です。次に、身体表現に移ります。こうした実践と平行して、演劇について、ビデオ、DVD を用いて、考えたい。		
評価方法 授業中に課題をだす。		
テキスト 必要に応じて、プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要があれば、その都度授業中に指示する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 名前を覚えよう！ 2. 触覚のコレスポンダンス 3. リズムを伝える 4. 見えないボール 5. イメージ 6. 物語をつくる 7. 重力を感じる 8. 歩き方 9. キャラクターワーク 10. 目を閉じて走れ！ 11. ジバリッシュ 12. 日本演劇について—鈴木忠志 13. —野田秀樹（夢の遊民社） 14. —平田オリザ（青年団） 15. —鴻上尚史（第三舞台）		